



FC-D301 UHF デジタル簡易無線登録局用

無線機設定用 PC ソフトウェア

FC-D301MC

操作説明書

バージョン:1.0

2019 年 8 月 26 日

株式会社エフ・アール・シー

はじめに

株式会社エフ・アール・シー製ハイパワー・デジタルトランシーバーFC-D301 をお買い上げいただきましてありがとうございます。

このソフトウェア(FC-D301MC)は、FC-D301 用のメモリ設定用プログラムです。このソフトウェアを使用すると、無線機用の設定データの作成、無線機への設定データの書き込み、無線機からの設定データの読み込みなどをおこなうことができます。

補足:PC と無線機を接続するためには、市販の USB2.0 に対応した USB ケーブルでパソコンと接続する必要があります。本機の USB 端子はマイクロ USB タイプ B です。無線機単体で設定できない機能が含まれるため、このソフトウェアを使用して設定した後、初期化(工場出荷設定に復元)するためには、ファイル プルダウンメニューの新規作成を使用して初期化する必要があります。(参照:2.2.1 ファイル プルダウン・メニュー 新規作成 →11 ページ)

■ソフトウェア・バージョン

ヘルププルダウン・メニューから“バージョン情報”を選択すると、バージョン情報ダイアログ・ボックスでソフトウェアのバージョンを確認することができます。

■電波法に関するご注意

- ・本機は電波法に基づいて、特定無線設備の工事設計についての認証を取得したデジタル簡易無線電話装置です。本機を分解・改造して使用すること、また本機の技術適合証明ラベルを剥がして使用することは電波法により禁止されています。
- ・登録状の範囲を超えた運用は電波法違反となりますのでご注意ください。
- ・他人の通信を聞いて、その内容を漏らすこと、または窃用することは電波法により禁止されています。
- ・無線局の登録(包括登録の場合には開設の届出) が行われますと、総務省より電波利用料の納入告知書が送付されて来ますので納付期限内に電波利用料を納付してください。
- ・登録局の有効期間は登録の日から5 年間です。再登録申請は、登録の有効期間満了の3ヶ月前から1ヶ月前までの期間内に手続きを行ってください。再登録を行わずに本機を使用しますと「電波法第110 条」により「1 年以下の懲役または百万円以下の罰金」に処せられます。十分ご注意ください。
- ・その他、必要に応じて下記の手続きを行ってください。
 - ・登録状の記載事項に変更が生じる場合(変更登録)
 - ・登録状が破れたり、汚れたり、紛失した場合(再交付申請)
 - ・登録局を廃止した場合(廃止届出)
 - ・友人などに登録局(無線機) を貸し出した場合(無線局の運用の特例に係る届出)

■標準規格について

FC-D301 は、ARIB STD-T98 規格に準拠した種別コード 3R の無線機です。

■商標・知的財産権について

・Windows ならびに Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本および他の国における登録商標または商標です。

変更履歴

日付	内容
2019.8.26	初版 バージョン 1.00

目次

1. FC-D301MC のセットアップ	7
1.1 システム要件	7
1.2 インストール	7
1.3 FC-D301MC の起動と終了	8
1.4 アンインストール	8
1.5 無線機と PC を接続する	9
2. メニュー概要	10
2.1 メニュー・バーとツール・バー	10
2.1.1 メニュー・バー	10
2.1.2 ツール・バー	10
2.2 メニュー・コマンド概要	11
2.2.1 ファイル プルダウン・メニュー	11
2.2.2 編集 プルダウン・メニュー	12
2.2.3 プログラム プルダウン・メニュー	13
2.2.4 設定 プルダウン・メニュー	13
2.2.5 ヘルプ プルダウン・メニュー	14
3. 基本操作	15
3.1 無線機から設定データを読み込む	15
3.2 無線機に設定データを書き込む	16
3.3 チャンネルの各種機能およびパラメーターを設定する	17
3.4 無線機の各種機能パラメーターを設定する	18
3.5 個別選択呼出の ID と名称リストを設定する	19
3.6 グループ選択呼出の ID と名称リストを設定する	20
3.7 選択呼出+メッセージに使用するメッセージ・リストを編集する	21
3.8 秘話設定を詳細に設定する	22

4. 設定手順.....	23
4.1 チャンネル情報ウィンドウ	23
4.1.1 受信周波数	24
4.1.2 送信周波数.....	24
4.1.3 受信 UC.....	24
4.1.4 送信 UC.....	25
4.1.5 チャンネル名	25
4.1.6 送信出力	25
4.1.7 スキャン対象.....	26
4.1.8 選択呼出	26
4.1.9 一括設定	26
4.1.10 秘話.....	27
4.1.11 秘話鍵リスト.....	27
4.2 オプション機能(オプション編集)ウィンドウ.....	27
①オプション編集ウィンドウ・共通設定 1 タブ	28
4.2.1. ビープ音量(キー操作音)	28
4.2.2 言語	28
4.2.3 現在のチャンネル.....	28
4.2.4 バッテリーセーブ(電池セーブ)	28
4.2.5 自局 ID.....	29
4.2.6 自局名送信.....	29
4.2.7 自局名.....	29
4.2.8 PC 時刻同期.....	29
4.2.9 キーロック.....	30
4.2.10 マナー(マナーモード)	30
4.2.11 優先スキャン.....	30
4.2.12 優先スキャンチャンネル.....	31
4.2.13 VOX 終話遅延時間	31
4.2.14 VOX 設定	31

4.2.15 VOX 感度	32
4.2.16 通話録音設定	32
4.2.17 S メーター	32
②オプション編集ウィンドウ・共通設定 2 タブ	33
4.2.18 オーディオ制御	33
4.2.19 モニター	34
4.2.20 スキャン	34
4.2.21 PTT ホールド	34
4.2.22 セカンドトーク ch 保持時間	34
4.2.23 セカンドトークビープ音	35
4.2.24 セカンドトークチャンネル	35
4.2.25 自動液晶 OFF	35
4.2.26 内部マイク感度	35
4.2.27 外部マイク感度	36
4.2.28 通話開始告知音	36
4.2.29 終話告知音	36
4.2.30 送信音設定	36
4.2.31 受信音設定	36
4.2.32 自動送信出力設定	37
4.2.33 上空 CH 設定	37
4.2.34 簡易チャンネル	37
③オプション編集ウィンドウ・簡易メニュータブ	38
④オプション編集ウィンドウ・キータブ	41
4.3 個別呼出ウィンドウ	43
4.4 グループ呼出ウィンドウ	45
4.5 メッセージ・ウィンドウ	47
4.6 秘話ウィンドウ	49
4.6.1 一括秘話設定	50
4.6.2 個別秘話設定	51

1. FC-D301MC のセットアップ

1.1 システム要件

FC-D301MC を PC にインストールして使用するためのシステム要件は以下の通りです。

オペレーティング・システム(OS)	Windows®7 (32-bit または 64-bit) Windows®8.1 (32-bit または 64-bit) Windows®10 (32-bit または 64-bit) 上記以外の OS には対応しておりません。対応する OS の種類につきましては、Microsoft Corporation による OS テクニカル・サポートの終了の理由により予告なく変更される場合があります。
プロセッサ	それぞれの OS で推奨されている CPU 以上
システム・メモリ	それぞれの OS で推奨されているシステム・メモリ以上の容量
ハード・ディスクの空き容量	ハード・ディスクに 5MB 以上の空き容量
周辺機器	・キーボード及びマウスなどのポインティング・デバイス ・USB2.0 インターフェース
接続ケーブル	マイクロ USB2.0 データ通信用接続ケーブル(市販品 本機の USB 端子はマイクロ USB タイプ B です。)

1.2 インストール

FC-D301MC を PC のハードディスク上にインストールするには、次の手順にしたがってください。

・FC-D301MC をインストールするには、管理者権限が必要です。

1. 起動しているアプリケーション(ウィルス・チェック・プログラムなどの常駐プログラムを含む)をすべて終了する。
2. 32-bit PC の場合“FC-D301MCSetupX86_1.00.exe” をダブルクリック、
64-bit PC の場合“FC-D301MCSetupX64_1.00.exe” をダブルクリックする。
セットアップ・プログラムが起動します。セットアップウィザードのガイドにしたがってインストールしてください。
・インストール完了後、“FC-D301MC を起動する”のチェックボックスにチェックを入れて“OK”を押すと
“ファイル実行エラー”、“要求された操作には管理者権限が必要です。”と表示されますが、FC-D301MC は正しくインストールされています。FC-D301MC を管理者権限で実行しプログラムを起動してご使用ください。

1.3 FC-D301MC の起動と終了

FC-D301MC を起動するには、タスクバーのスタート>FC-D301MC から“FC-D301MC”を選択します。

・FC-D301MC をインストールしたフォルダー内にある“FC-D301MC.exe”をダブルクリックしても起動することができます。

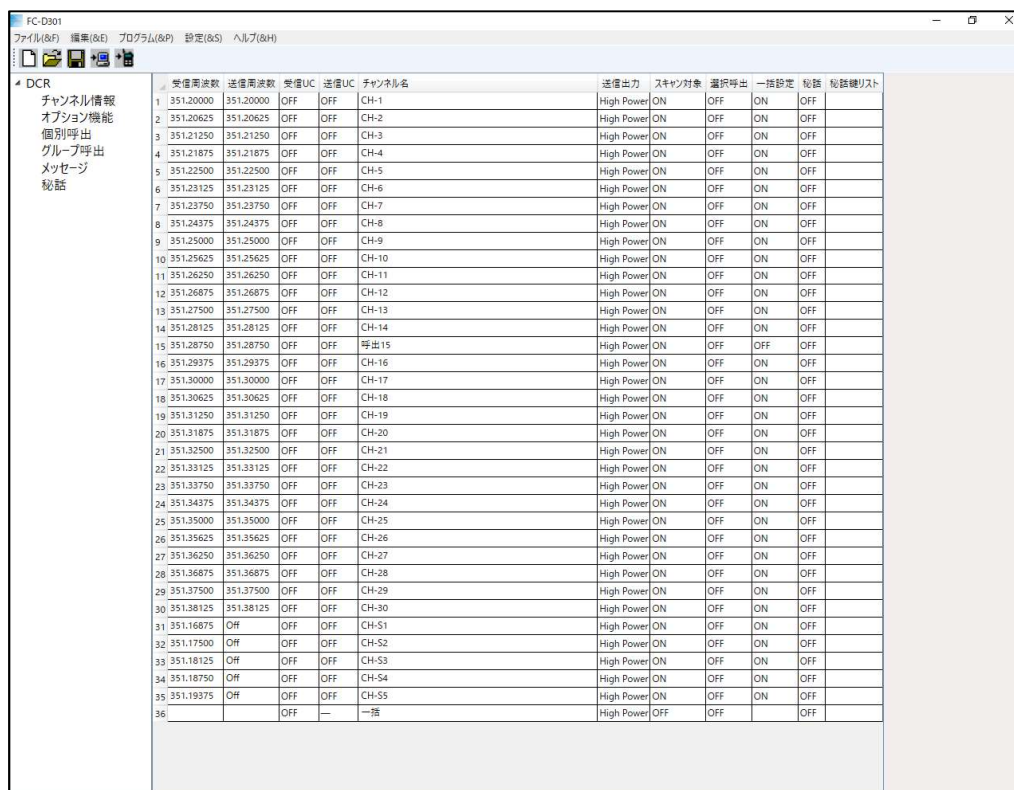


図 1-1 FC-D301MC の起動画面

FC-D301MC のメイン・ウィンドウが表示されます。

FC-D301MC を終了するには、“ファイル”プルダウン・メニューから”終了”を選択するか、タイトル・バーの図をクリックします。

1.4 アンインストール

PC から FC-D301MC をアンインストールするには、次の手順にしたがってください。

・アンインストールする前に、FC-D301MC をかならず終了してください。

・FC-D301MC をアンインストールするには、管理者権限が必要です

■ウィンドウズのコントロール・パネルからアンインストールする

1. コントロール・パネルウィンドウで“プログラムと機能”を選択

2. “FC-D301MC”を選択

3. 画面の指示にしたがってアンインストールしてください

■ウィンドウズの設定からアンインストールする

1. ウィンドウズの設定で“アプリ”を選択

2. “FC-D301MC”を選択

3. “アンインストール”を選択し画面の指示にしたがってアンインストールしてください

1.5 無線機と PC を接続する

無線機と PC を接続する手順について説明します。

FC-D301MC を使用して以下の操作をする場合に、無線機と PC を市販の USB2.0 に対応した USB データ通信用ケーブルでパソコンと接続する必要があります。本機の USB 端子はマイクロ USB タイプ B です。

1. 無線機の電源を切る
2. USB データ通信用ケーブルのマイクロ USB タイプ B 側を、無線機右側面のコネクタに接続する
3. USB データ通信用ケーブルの PC 側を、PC の USB ポートに接続する
4. 無線機の電源をもう一度入れる
5. COM ポートを設定する(参照:2.2.4 設定 プルダウン・メニュー COM ポート→13 ページ)
6. 無線機から設定データを読み込む(参照:3.1 無線機からデータを読み込む→15 ページ)
7. 無線機に設定データを書き込む(参照:3.2 無線機からデータを書き込む→16 ページ)
8. 無線機の電源を切る
9. USB データ通信用ケーブルのマイクロ USB タイプ B 側を、無線機右側面のコネクタから取り外す。
10. USB データ通信用ケーブルの PC 側を、PC の USB ポートから取り外す。

2. メニュー概要

2.1 メニュー・バーとツール・バー

メイン・ウィンドウの左上部には、メニュー・バーとツール・バーが配置されています。



図 2-1 メニュー・バーとツール・バー

2.1.1 メニュー・バー

FC-D301MC で無線機の各設定をするためのメニュー・タイトルが配置されています。メニュー・タイトルをクリックすると、プルダウン・メニューが開き、メニュー・コマンドが表示されます。

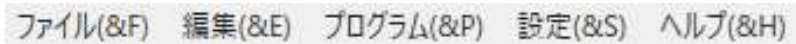


図 2-2 メニュー・バー

2.1.2 ツール・バー

ツール・バーには、メニュー・コマンドの中から使用頻度の高い機能のアイコンが表示されています。



図 2-3 ツール・バー

表 2-1 ツール・バーの各ボタンの機能一覧

ボタン	機能
 新規作成	このアイコンをクリックすると、編集されている設定データをすべて消去し、初期値（無線機工場出荷設定）から編集・設定することができます。（参照：2.2.1 ファイル プルダウン・メニュー 新規作成→11 ページ）
 開く	このアイコンをクリックすると、ハード・ディスクなどに保存されている設定データ・ファイルを開くことができます。（参照：2.2.1 ファイル プルダウン・メニュー 開く→11 ページ）
 保存	このアイコンをクリックすると、編集されている設定値データを FC-D301MC がインストールされているフォルダーに保存します。FC-D301MC を終了して再度起動する場合、保存された設定値で起動します。（参照：2.2.1 ファイル プルダウン・メニュー 保存→11 ページ）
 無線機からデータを読み込む	このアイコンをクリックすると、無線機から設定データを読み込むことができます。（参照：3.1 無線機から設定データを読み込む→15 ページ）

 無線機にデータ を書き込む	このアイコンをクリックすると、無線機に設定データを書き込むことができます。 (参照:3.2 無線機に設定データを書き込む→16 ページ)
--	---

2.2 メニュー・コマンド概要

メニュー・コマンドについて説明します。

2.2.1 ファイル プルダウン・メニュー

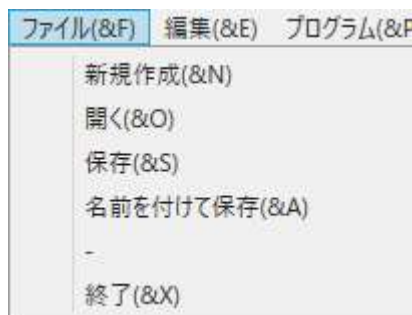


図 2-4 ファイル プルダウン・メニュー

表 2-2 ファイル プルダウン・メニュー機能一覧表

メニュー	機能概要
新規作成	編集されている設定データをすべて消去し、初期値(無線機工場出荷設定)から編集・設定することができます。
開く	ハード・ディスクなどに保存されている設定データ・ファイルを開くことができます。
保存	編集されている設定値データを FC-D301MC がインストールされているフォルダーに保存します。FC-D301MC を終了して再度起動する場合、保存された設定値で起動します。
名前を付けて保存	編集されている設定値データを、任意のファイル名、保存先でハード・ディスクなどの記憶装置に保存することができます。
終了	FC-D301MC を終了することができます。

2.2.2 編集 プルダウン・メニュー

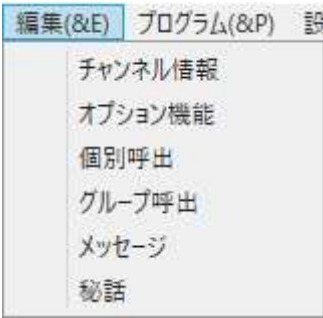


図 2-5 編集 プルダウン・メニュー

表 2-3 編集 プルダウン・メニュー機能一覧表

メニュー	機能概要
チャンネル情報	各チャンネルのデータを設定することができます。
オプション機能	無線機の各種機能を設定することができます。
個別呼出	個別選択呼出に関するデータを設定することができます。
グループ呼出	グループ選択呼出に関するデータを設定することができます。
メッセージ	選択呼出+メッセージに関するデータを設定することができます。
秘話	秘話個別設定に関するデータを設定することができます。

編集メニューはツール・バー下に配置されている編集メニューをクリックすることでも選択可能です。



図 2-6 編集メニュー

2.2.3 プログラム プルダウン・メニュー

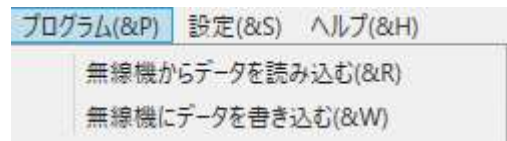


図 2-7 プログラム プルダウン・メニュー

表 2-4 プログラム プルダウン・メニュー機能一覧表

メニュー	機能概要
無線機からデータを読み込む	無線機から設定データを読み込むことができます。
無線機にデータを書き込む	無線機に設定データを書き込むことができます。

2.2.4 設定 プルダウン・メニュー

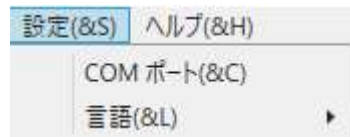


図 2-8 設定 プルダウン・メニュー

表 2-5 設定 プルダウン・メニュー機能一覧表

メニュー	機能概要
COMポート	無線機との間で使用する通信ポートを割り当てます。
言語	言語を選択できます。設定値: 日本語または English

USB 通信ケーブルを接続し無線機の電源を入れた後に無線機と接続された COM ポートを COM ポート選択プルダウン・リストより選択してください。“Ok”ボタンをクリックすると次回起動時に同じ COM ポートを選択します。無線機の電源をオフからオンで COM ポート選択プルダウン・リスト内に現れる COM ポートが無線機の接続された COM ポートです。



図 2-9 COM ポート設定・ウィンドウ

2.2.5 ヘルプ プルダウン・メニュー

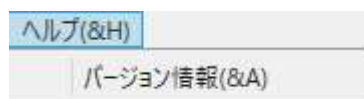


図 2-10 ヘルプ プルダウン・メニュー

表 2-6 ヘルプ プルダウン・メニュー機能一覧表

メニュー	機能概要
バージョン情報	このソフトウェア(FC-D301MC)のバージョン情報を表示します。

3. 基本操作

基本的操作について説明します。本ソフトウェア(FC-D301MC)で設定したデータは、必要に応じてハード・ディスクなどの記憶装置に保存してください。

3.1 無線機から設定データを読み込む

無線機に設定されているデータを、FC-D301MC へ読み込むことができます。FC-D301MC へ読み込んだデータの各パラメーターを変更して、設定データ・ファイルとして保存したり、無線機に書き込んだりすることができます。

無線機から設定データを読み込むには、無線機と PC を市販の“マイクロ USB タイプ B(無線機側) to USB タイプ A(PC 側)データ通信用接続ケーブル”で接続する必要があります。(参照:1.5 無線機と PC を接続する→9 ページ)

プログラム プルダウン・メニューから“無線機からデータを読み込む”を選択すると、データ読み込みダイアログ・ボックスが表示され、読み込みが完了すると“読込成功”と表示されます。“OK”を押すことによりダイアログ・ボックスの表示はなくなります。

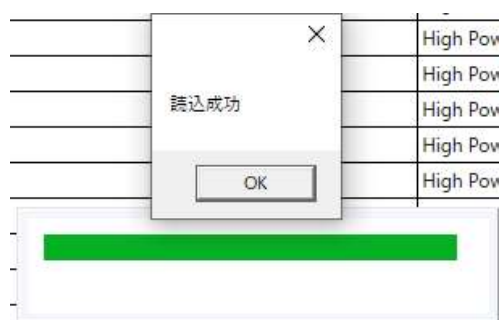


図 3-1 データ読み込みダイアログ・ボックス

データ読み込み中、無線機画面は“PC READ”と表示されます。読み込み完了後、無線機は自動的に再起動します。

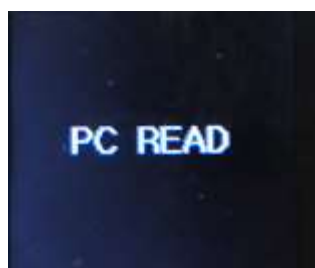


図 3-2 データ読み込み中の無線機画面表示

- ・データ読み込み中に電源を切ったり、USB データ通信ケーブルを外さないでください。
- ・無線機の再起動中は COM ポートを選択できません。
- ・無線機の再起動中はデータの読み書きはできません。

3.2 無線機に設定データを書き込む

編集したデータを無線機に書き込みます。

プログラム プルダウン・メニューから“無線機にデータを書き込む”を選択すると、データ書き込みダイアログ・ボックスが表示され、書き込みが完了すると“書込成功”と表示されます。“OK”を押すことによりダイアログ・ボックスの表示は無くなります。

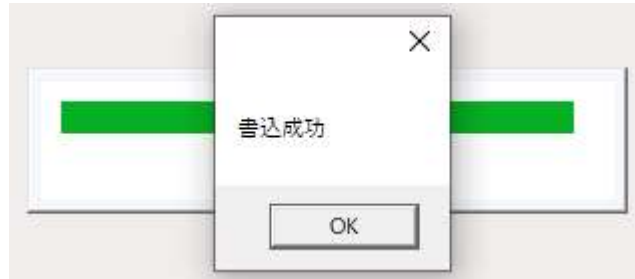


図 3-3 データ書き込みダイアログ・ボックス

データ書き込み中、無線機画面は“PC WRITE”次に”Copying Data To The Radio Please Wait! Do Not Power Off”と表示されます。書き込み完了後、無線機は自動的に再起動します。

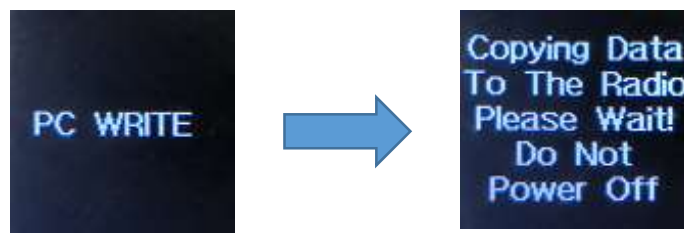


図 3-4 データ書き込み中の無線機画面表示

- ・データ読み込み中に電源を切ったり、USB データ通信ケーブルを外さないでください。
- ・無線機の再起動中は COM ポートを選択できません。
- ・無線機の再起動中はデータの読み書きはできません。

3.3 チャンネルの各種機能およびパラメーターを設定する

FC-D301MC を起動後、または編集 プルダウン・メニューから“チャンネル情報”を選択すると、チャンネル情報ウィンドウが表示されます。

チャンネル情報ウィンドウでは、無線機が送受信するときに使用するチャンネルの各種機能のパラメーターを設定することができます。

	受信周波数	送信周波数	受信UC	送信UC	チャンネル名	送信出力	スキャン対象	選択呼出	一括設定	秘話	秘話鍵リスト
1	351.20000	351.20000	OFF	OFF	CH-1	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
2	351.20625	351.20625	OFF	OFF	CH-2	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
3	351.21250	351.21250	OFF	OFF	CH-3	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
4	351.21875	351.21875	OFF	OFF	CH-4	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
5	351.22500	351.22500	OFF	OFF	CH-5	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
6	351.23125	351.23125	OFF	OFF	CH-6	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
7	351.23750	351.23750	OFF	OFF	CH-7	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
8	351.24375	351.24375	OFF	OFF	CH-8	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
9	351.25000	351.25000	OFF	OFF	CH-9	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
10	351.25625	351.25625	OFF	OFF	CH-10	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
11	351.26250	351.26250	OFF	OFF	CH-11	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
12	351.26875	351.26875	OFF	OFF	CH-12	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
13	351.27500	351.27500	OFF	OFF	CH-13	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
14	351.28125	351.28125	OFF	OFF	CH-14	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
15	351.28750	351.28750	OFF	OFF	呼出15	High Power	ON	OFF	OFF	OFF	
16	351.29375	351.29375	OFF	OFF	CH-16	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
17	351.30000	351.30000	OFF	OFF	CH-17	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
18	351.30625	351.30625	OFF	OFF	CH-18	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
19	351.31250	351.31250	OFF	OFF	CH-19	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
20	351.31875	351.31875	OFF	OFF	CH-20	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
21	351.32500	351.32500	OFF	OFF	CH-21	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
22	351.33125	351.33125	OFF	OFF	CH-22	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
23	351.33750	351.33750	OFF	OFF	CH-23	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
24	351.34375	351.34375	OFF	OFF	CH-24	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
25	351.35000	351.35000	OFF	OFF	CH-25	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
26	351.35625	351.35625	OFF	OFF	CH-26	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
27	351.36250	351.36250	OFF	OFF	CH-27	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
28	351.36875	351.36875	OFF	OFF	CH-28	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
29	351.37500	351.37500	OFF	OFF	CH-29	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
30	351.38125	351.38125	OFF	OFF	CH-30	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
31	351.16875	OFF	OFF	OFF	CH-S1	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
32	351.17500	OFF	OFF	OFF	CH-S2	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
33	351.18125	OFF	OFF	OFF	CH-S3	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
34	351.18750	OFF	OFF	OFF	CH-S4	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
35	351.19375	OFF	OFF	OFF	CH-S5	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
36			OFF	—	一括	High Power	OFF	OFF		OFF	

図 3-5 チャンネル情報ウィンドウ

チャンネル情報ウィンドウの各行を選択しダブルクリックするとチャンネル情報編集ウィンドウが起動します。

受信周波数	351.20000	送信周波数	351.20000
受信UC	OFF	送信UC	OFF
チャンネル名	CH-1	送信出力	High Power
スキャン対象	ON	選択呼出	OFF
一括設定	ON		
秘話	OFF	秘話鍵リスト	
Ok		閉じる	

図 3-6 チャンネル情報編集ウィンドウ

詳しい設定方法については、4.1 チャンネル情報ウィンドウ→23 ページを参照してください。

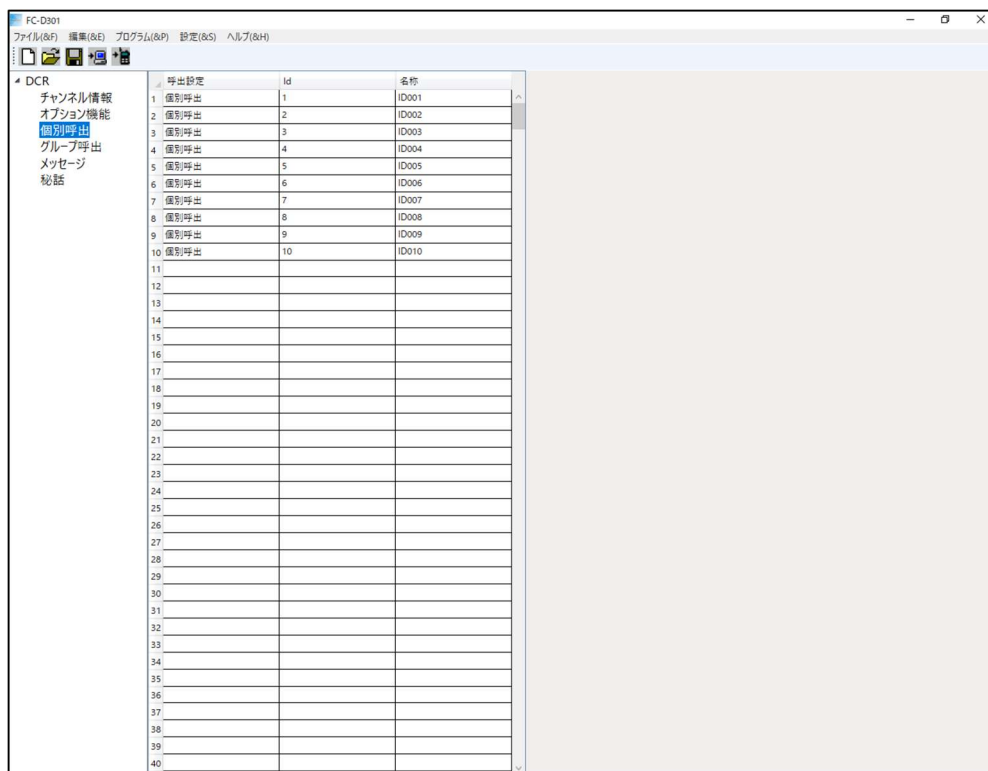
3.4 無線機の各種機能パラメーターを設定する

編集プルダウン・メニューから“オプション機能”を選択すると、オプション編集ウィンドウが表示されます。オプション編集ウィンドウでは、無線機の操作や通信動作に関する各種機能のパラメーター、簡易メニューリストの追加、無線機のキー（ボタン）の機能割当てを設定することができます。左上部のタブを選択することにより、共通設定1・ウィンドウ、共通設定2・ウィンドウ、簡易メニュー・ウィンドウ、キー・ウィンドウが表示されます。

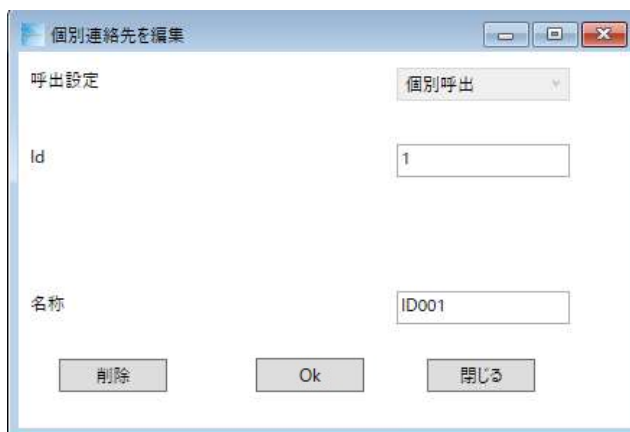
共通設定1		共通設定2		簡易メニュー		キー	
ビープ音量		受話レベルと同じ		言語		日本語	
				現在のチャンネル番号		CH 1	
				バッテリーセーブ		OFF	
自局ID		1		自局名送信		OFF	
自局名				PC時刻同期		OFF	
キーロック		OFF		マナー		OFF	
優先スキャン		OFF		優先スキャンチャンネル		なし	
VOX終話遅延時間		2S		Vox設定		OFF	
Vox感度		レベル4		通話録音設定		OFF	
Sメーター		OFF					
Ok				閉じる			

図 3-7 オプション編集・共通設定1ウィンドウ

個別呼出ウィンドウでは、個別選択呼出(簡易メニューリスト中の“個別呼出”と“個別呼出+M”)機能で使用する個別 ID と名称を設定することができます。



個別呼出ウィンドウ中の 1～1000 のリストをダブルクリックすると、個別連絡先を編集・ウィンドウが表示されます。Id の設定範囲は 1～65519 です。名称の入力可能文字数は、全角 8 文字以下、半角英数字 16 文字以下となります。



目次

3.6 グループ選択呼出の ID と名称リストを設定する

編集プルダウン・メニューから“グループ呼出”を選択すると、グループ呼出・ウィンドウが表示されます。グループ呼出ウィンドウでは、グループ選択呼出(簡易メニューリスト中の“グループ呼出”と“グループ呼出+M”)機能で使用するグループ ID と名称を設定することができます。待ち受けグループ ID はドロップダウン・リストから 8 種類の待ち受けするグループ ID を選択することができます。

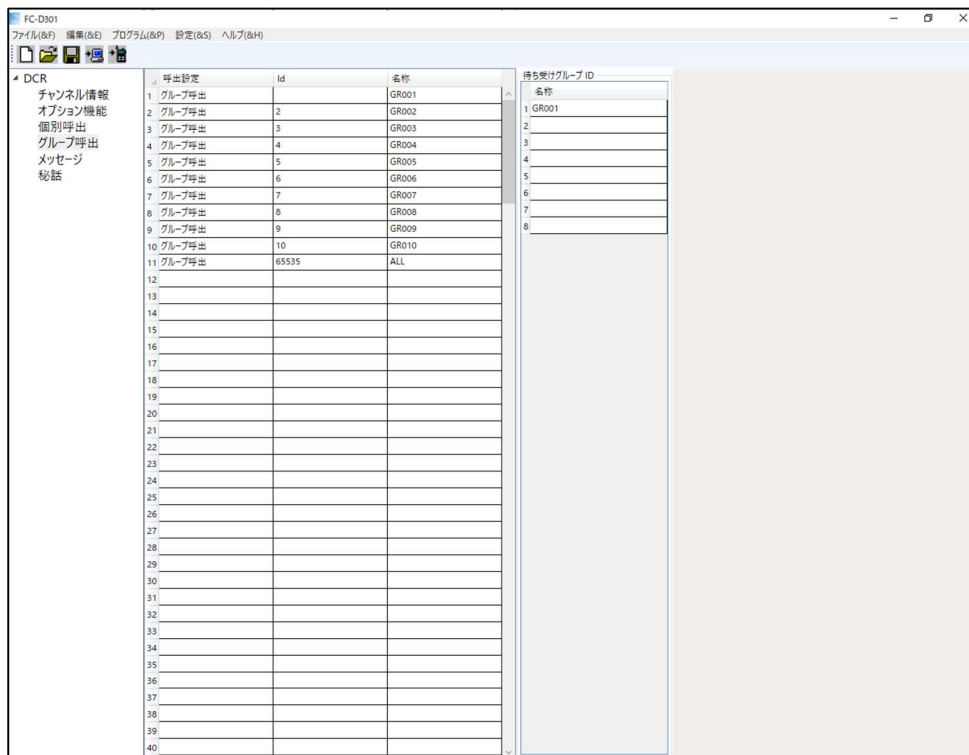


図 3-10 グループ呼出ウィンドウ

個別呼出ウィンドウ中の 1～250 のリストをダブルクリックすると、グループ呼出編集・ウィンドウが表示されます。Id の設定範囲は 1～65519 です。名称の入力可能文字数は、全角 8 文字以下、半角英数字 16 文字以下となります。

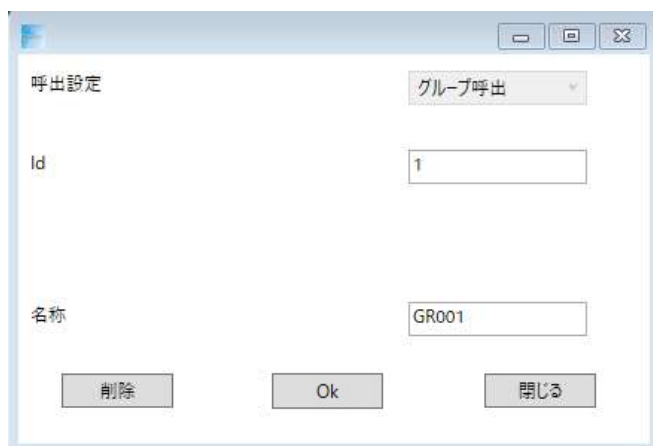


図 3-11 グループ呼出編集ウィンドウ

詳しい設定方法については、4.4 グループ呼出ウィンドウ→45 ページを参照してください。

3.7 選択呼出+メッセージに使用するメッセージ・リストを編集する

編集プルダウン・メニューから“メッセージ”を選択すると、メッセージ・ウィンドウが表示されます。

メッセージ・ウィンドウでは、選択呼出(簡易メニューリスト中の“個別呼出+M”と“グループ呼出+M”)機能で使用するメッセージ内容を設定することができます。メッセージ内容は1～100までのリストを設定できます。

・メッセージ内容は、通信するグループ内で同じリストを使用することで使用可能になります。

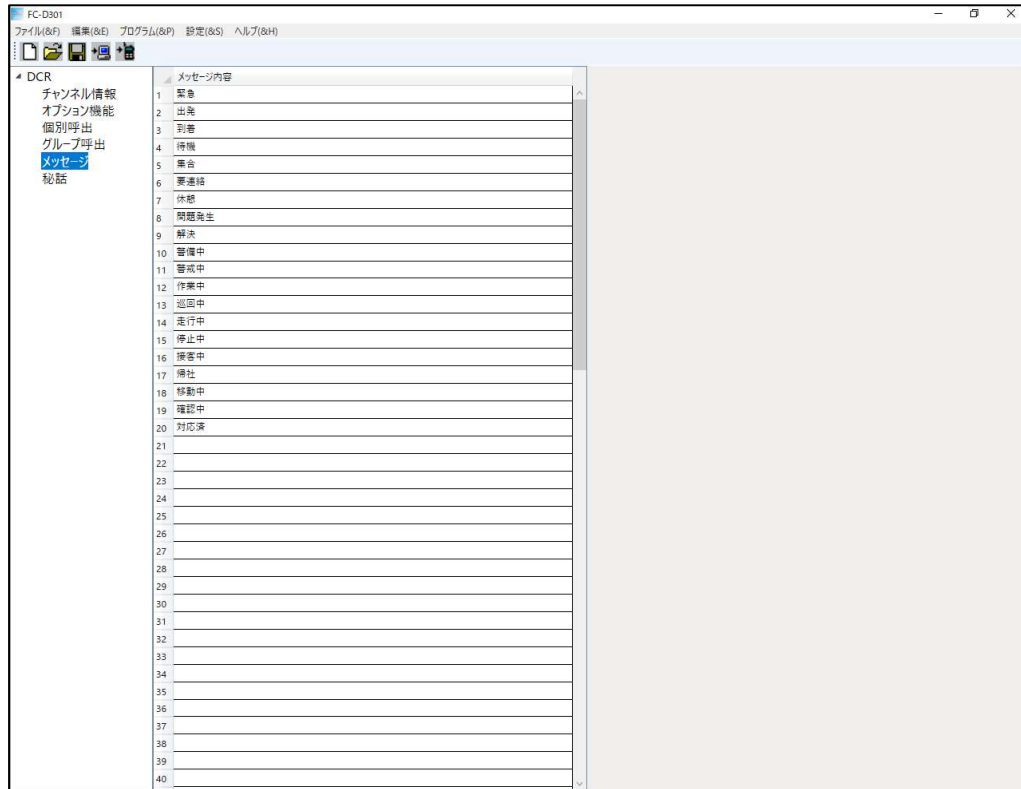


図 3-12 メッセージ・ウィンドウ

詳しい設定方法については、4.5 メッセージ・ウィンドウ→47 ページを参照してください。

3.8 秘話設定を詳細に設定する

編集プルダウン・メニューから“秘話”を選択すると、秘話・ウィンドウが表示されます。

秘話・ウィンドウでは、最大 32 種類の秘話鍵リストを設定することができます。

・秘話鍵リストを使用するためには、チャンネル情報ウィンドウの一括設定が“OFF”となっている必要があります。

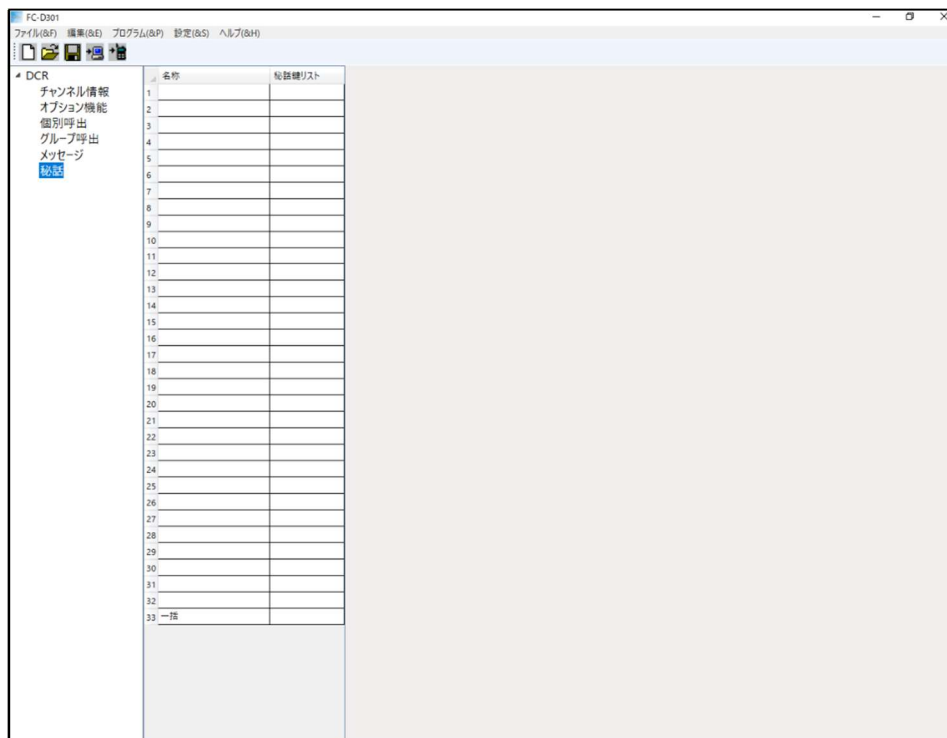


図 3-13 秘話・ウィンドウ

リスト中の 33 番目の“一括”をダブルクリックすると秘話編集ウィンドウが表示されます。初期値は秘話受信タイプ:一括、一括秘話鍵:OFF となっていますので、秘話鍵リストを設定する場合には秘話受信タイプのプルダウン・リストより“個別”を選択して“Ok”ボタンを押します。



図 3-14 秘話設定タイプを個別に変更

詳しい設定方法については、4.6 秘話ウィンドウ→49 ページを参照してください。

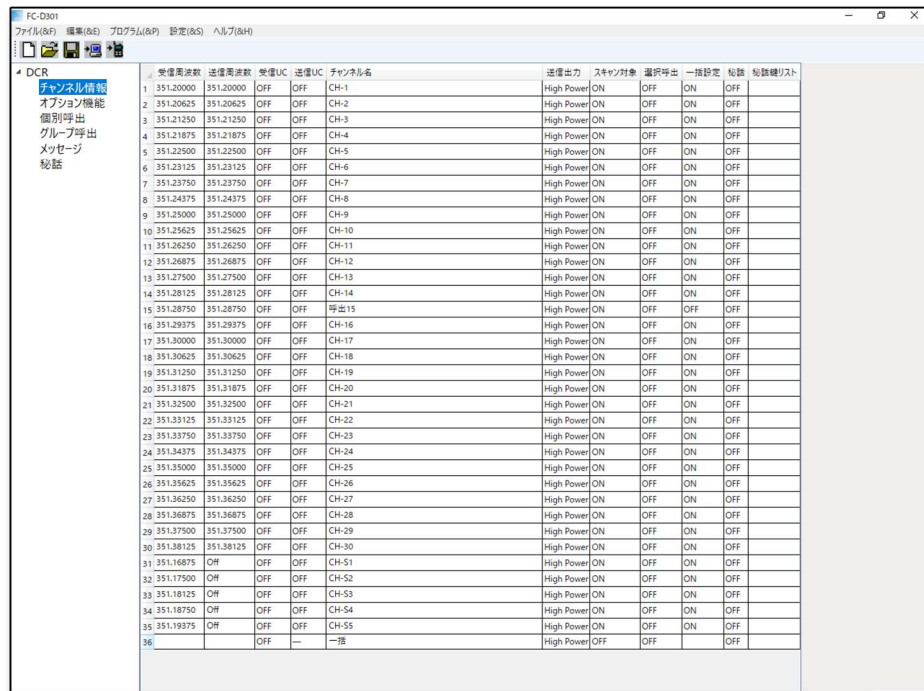
4. 設定手順

△警告

この章では、代表的な機能の設定手順を記載しています。各機能の設定パラメーターは、無線機が運用されるシステムや環境により異なるため、無線機の運用使用状況を事前に検討して設定する必要があります。

4.1 チャンネル情報ウィンドウ

無線機が送受信する使用するチャンネルの各種機能のパラメーターを設定することができます。



受信周波数	送信周波数	送信UC	チャンネル名	送信出力	スキャン対象	選択呼出	一括設定	秘話	秘話鍵リスト
351.20000	351.20000	OFF	CH-1	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.20625	351.20625	OFF	CH-2	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.21250	351.21250	OFF	CH-3	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.21875	351.21875	OFF	CH-4	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.22500	351.22500	OFF	CH-5	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.23125	351.23125	OFF	CH-6	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.23750	351.23750	OFF	CH-7	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.24375	351.24375	OFF	CH-8	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.25000	351.25000	OFF	CH-9	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.25625	351.25625	OFF	CH-10	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.26250	351.26250	OFF	CH-11	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.26875	351.26875	OFF	CH-12	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.27500	351.27500	OFF	CH-13	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.28125	351.28125	OFF	CH-14	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.28750	351.28750	OFF	雑音15	High Power	ON	OFF	OFF	OFF	
351.29375	351.29375	OFF	CH-16	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.30000	351.30000	OFF	CH-17	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.30625	351.30625	OFF	CH-18	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.31250	351.31250	OFF	CH-19	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.31875	351.31875	OFF	CH-20	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.32500	351.32500	OFF	CH-21	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.33125	351.33125	OFF	CH-22	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.33750	351.33750	OFF	CH-23	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.34375	351.34375	OFF	CH-24	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.35000	351.35000	OFF	CH-25	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.35625	351.35625	OFF	CH-26	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.36250	351.36250	OFF	CH-27	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.36875	351.36875	OFF	CH-28	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.37500	351.37500	OFF	CH-29	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.38125	351.38125	OFF	CH-30	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.38750	OFF	OFF	CH-51	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.39375	OFF	OFF	CH-52	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.40000	OFF	OFF	CH-53	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.40625	OFF	OFF	CH-54	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.41250	OFF	OFF	CH-55	High Power	ON	OFF	ON	OFF	
351.41875	OFF	OFF	一括	High Power	OFF	OFF	ON	OFF	

図 4-1 チャンネル情報ウィンドウ



受信周波数	351.20000	送信周波数	351.20000
受信UC	OFF	送信UC	OFF
チャンネル名	CH-1	送信出力	High Power
スキャン対象	ON	選択呼出	OFF
一括設定	ON		
秘話	OFF	秘話鍵リスト	
Ok		閉じる	

図 4-2 チャンネル情報編集ウィンドウ

4.1.1 受信周波数

受信周波数では、無線機が受信するときに使用する周波数を表示します。

設定範囲	351.20000(無線機表示アイコン:D01)～351.38125(無線機表示アイコン:D30) 351.16875(無線機表示アイコン:S01)～351.19375(無線機表示アイコン:S05)
初期値	同上

・各チャンネル番号に対して周波数は固定されています。

4.1.2 送信周波数

送信周波数では、無線機が送信するときに使用する周波数を設定できます。

チャンネル情報編集ウィンドウの送信周波数を、ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF、受信周波数で設定されている周波数
初期値	受信周波数で設定されている周波数

4.1.3 受信 UC

受信 UC(ユーザー・コード)は、他のグループの通話を聞こえないようにスピーカーからの出力を制御するためのコードです。複数のグループで通話チャンネルを共有している場合、グループごとに異なるユーザー・コードを設定することにより、他のグループの通話が聞こえなくなり、同じユーザー・コードを設定したグループ内の通話がスムーズに行えます。

チャンネル情報編集ウィンドウの受信 UC を、ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF(なし)、1～511
初期値	OFF(なし)

・15 番目の呼出 15(D15)には“OFF”が設定され、設定を変更することはできません。

・チャンネル情報ウィンドウの 36 番目のチャンネル名：一括をダブルクリックして表示されるチャンネル情報編集ウィンドウで受信ユーザー・コードを設定した場合には、呼出チャンネル(D15)以外の受信ユーザー・コードが一括で設定されます。

・ユーザー・コードによる制御は、電波の混信を回避するものではありません。電波が混信している場合は、キャリアセンス機能が働きます。(キャリアセンス機能とは、送信しようとしているチャンネルが他のグループにより使用されている場合に、無線機が他局の通信を妨害しないように自動的に送信を制限する機能です。)

4.1.4 送信 UC

送信 UC(ユーザー・コード)は、グループの呼び出しを行うとき、制御されている受信側のスピーカーから音声を出力させる呼び出し用のコードを設定することができます。複数のグループで通話チャンネルを共有している場合、グループごとに異なるユーザー・コードを設定することにより、他のグループの通話が聞こえなくなり、同じユーザー・コードを設定したグループ内の通話がスムーズに行えます。

チャンネル情報編集ウィンドウの送信 UC を、ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF(なし)、1～511
初期値	OFF(なし)

- ・15 番目の呼出 15(D15)には“OFF”が設定され、設定を変更することはできません。
- ・チャンネル情報ウィンドウの 36 番目のチャンネル名：一括をダブルクリックして表示されるチャンネル情報編集ウィンドウで受信ユーザー・コードを設定した場合には、呼出チャンネル(D15)以外の受信ユーザー・コードが一括で設定されます。
- ・送信 UC を設定するためには、一括設定を「OFF」に設定する必要があります。(参照：4.1.9 一括設定 →26 ページ)
- ・ユーザー・コードによる制御は、電波の混信を回避するものではありません。電波が混信している場合は、キャリアセンス機能が働きます。(キャリアセンス機能とは、送信しようとしているチャンネルが他のグループにより使用されている場合に、無線機が他局の通信を妨害しないように自動的に送信を制限する機能です。)

4.1.5 チャンネル名

- 4.1.5.1.1 各チャンネルのチャンネル名を設定することができます。チャンネル情報編集ウィンドウのチャンネル名に直接入力して設定します。

設定範囲	5 文字までの全角文字列または 10 文字までの半角英数字
初期値	番号 1～14 : “CH-1”～ “CH-14” 番号 15 : “呼出 15” 番号 16～30 : “CH-16”～ “CH-30” 番号 31～35 : “CH-S1”～ “CH-S1”

4.1.6 送信出力

送信出力をドロップダウン・リストから選択して設定することができます。送信出力は番号 1～14、16～30 の送信出力と番号 15 のチャンネルの設定ができます。

設定範囲	番号 1～30 : High Power(5W)、Middle Power(2.5W)、Low Power(1W)、Small Power(0.25W) 番号 31～35 : OFF(なし)
初期値	番号 1～30 : High Power(5W) 番号 31～35 : OFF(なし)

- ・36 番目のチャンネル名：一括をダブルクリックすることにより表示されるチャンネル情報編集ウィンドウの送信出力ドロップダウン・リストで送信出力を選択し“Ok”を押すことにより番号 1～14 と番号 16～30 の送

信出力が設定されます。

・番号 1～14 と番号 16～30 のいずれか 1 つをダブルクリックすることにより表示されるチャンネル情報編集ウィンドウの送信出力ドロップダウン・リストで送信出力を選択した場合、番号 1～14 と番号 16～30 送信出力が一括で変更されます。

・15 番目のチャンネル名:呼出 15 の送信出力は、チャンネル情報編集ウィンドウの送信出力ドロップダウン・リストで送信出力を選択することにより個別に送信出力が設定できます。

4.1.7 スキャン対象

無線機のスキャン機能を動作させたときに、スキャンをするか否かを設定することができます。

チャンネル情報編集ウィンドウのスキャン対象を、ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	ON	スキャン動作を開始したときに、現在のチャンネルをスキャンする
	OFF	スキャン動作を開始したときに、現在のチャンネルをスキャンしない
初期値	ON	

4.1.8 選択呼出

個別呼び出し、またはグループ呼び出しを受信するかどうかの設定をすることができます。

チャンネル情報編集ウィンドウの選択呼出を、ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	ON	個別呼出またはグループ呼出を待ち受けします。ID が一致すると着信トーンが鳴り送信局の ID が画面に表示されます。スピーカークの出力はオプション編集・共通設定 2 の“オーディオ制御”の設定に従い出力されます。(参照:4.2.18 オーディオ制御→33 ページ)
	OFF	個別呼出またはグループ呼出の待ち受けを行いません。スピーカークの出力はオプション編集・共通設定 2 の“オーディオ制御”の設定に従い出力されます。
初期値	OFF	

・呼出 15 チャンネルは選択呼出しの設定はできません。

・36 行目をダブルクリックして表示されるチャンネル情報ウィンドウの“選択呼出”設定を“ON”にして“OK”ボタンを押すと呼出 15 チャンネル以外のチャンネルの選択呼出設定を ON にすることができます。

4.1.9 一括設定

チャンネル情報ウィンドウ内の各種設定を一括で設定するかどうかを設定します。

チャンネル情報編集ウィンドウの一括設定を、ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	ON	一括設定を行なう。
	OFF	個別設定を行なう
初期値	ON	

・各チャンネルごとに、チャンネル情報ウィンドウ内の各種設定を行なう場合 OFF に設定してください。

4.1.10 秘話

秘話機能を使用するかどうかの設定をすることができます。

チャンネル情報編集ウィンドウの秘話を、ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	ON	秘話機能を有効にする
	OFF	秘話機能を無効にする
初期値	OFF	

4.1.11 秘話鍵リスト

編集プルダウン・メニューから“秘話”を選択することにより表示される秘話・ウィンドウ内で設定された秘話鍵リスト名をドロップダウン・リストにより選択できます。

設定範囲	設定なし、秘話・ウィンドウ内で設定された秘話鍵リスト名 (1～32)
初期値	設定なし

- ・秘話鍵リストを選択するためには、設定するチャンネルの一括設定を OFF にする必要があります。

4.2 オプション機能(オプション編集)ウィンドウ

オプション編集ウィンドウでは、送受信時の各種機能や各種機能のパラメーターや簡易メニューの追加削除、サイド1、サイド 2 キーの機能割当てを設定することができます。オプション編集ウィンドウは以下のタブで構成されています。

- ・共通設定 1
- ・共通設定 2
- ・簡易メニュー
- ・キー



図 4-3 オプション編集ウィンドウ・共通設定 1 タブ

①オプション編集ウィンドウ・共通設定 1 タブ

4.2.1. ビープ音量(キー操作音)

無線機のいずれかのキーが押されたときにスピーカーから出力されるキー操作音量を設定することができます。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF	キー操作音は、無線機から鳴りません。
	1～16	固定音量でキー操作音が無線機から鳴ります。数値が大きいほど音量が大きくなります。
	受信音連動	音量ツマミの音量と連動して無線機からキー操作音が鳴ります。
初期値	受信音連動	

4.2.2 言語

無線機表示画面の言語を設定することができます。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	日本語
	English
初期値	日本語

4.2.3 現在のチャンネル

現在のチャンネルを設定することができます。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	CH 1 (D01)～CH 30 (D30) 通常 CH CH 31 (S01)～CH 35 (S05) 上空 CH
初期値	CH-1 (D01)

4.2.4 バッテリーセーブ(電池セーブ)

バッテリーセーブ機能は、無線機操作が 10 秒以上なく、待ち受け状態が一定時間以上連続すると無線機は間欠受信モードに入り、電池の消耗をセーブする機能です。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF:バッテリーセーブ機能は起動しません。
	ON:バッテリーセーブが起動します。
初期値	OFF

・無線機がスキャンしている間は、バッテリーセーブは起動しません。

4.2.5 自局 ID

自局 ID では、無線機の個別 ID を設定することができます。個別 ID は、個別呼出などの各種通信を使用するときに必要な無線機の個別識別子です。自局 ID をエディット・ボックスに直接入力することで設定します。

設定範囲	1～65519
初期値	1

4.2.6 自局名送信

個別呼出などの選択呼出通信を使用するときに、受信側の無線機に送信側の無線機の ID 名が登録されていない場合でも、信号を受信したときに送信側の無線機の自局名を画面表示させるかどうかを設定することができます。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF: 自局名を送信しません。
	ON: 自局名を送信します。
初期値	OFF

- 本機種同士の通信にのみ有効となる機能です。他社機へは自局名を送信できません。
- 個別呼出とグループ呼出送信時に有効となります。

4.2.7 自局名

自局名では、無線機の自局名を設定することができます。自局名は、個別呼出などの選択呼出通信を使用するときに送信可能な名称。自局名をエディット・ボックスに直接入力することで設定します。

設定範囲	なし(空欄)、全角 6 文字以内
初期値	なし(空欄)

- 本機種同士の通信にのみ有効となる機能です。他社機へは自局名を送信できません。
- 個別呼出とグループ呼出送信時に有効となります。

4.2.8 PC 時刻同期

無線機の日時設定が、PC 設定時刻と同期するかどうかを設定することができます。

設定範囲	OFF: PC 時刻と同期しません。
	ON: 無線機の日時設定は PC 時刻と同期します。
初期値	OFF

- PC 時刻は設定値を“ON”してから、オプション編集ウィンドウ・共通設定 1 の“OK”ボタンを押した時刻になります。無線機にデータを書き込む直前に本設定を編集してください。

4.2.9 キーロック

PTT およびセカンドトーク用 PTT に割当てられたキー以外をロックするかどうかを設定することができます。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF:キーロックをしません。
	ON: PTT およびセカンドトーク用 PTT に割当てられたキー以外をロックします。
初期値	OFF

4.2.10 マナー (マナーモード)

オーディオ制御設定に合致した信号を受信したときに、スピーカーからの出力をしないマナーモードを設定することができます。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF	マナーモード OFF
	TONE OFF	オーディオ制御設定に合致した信号を受信したときに、スピーカーからの出力をしません。いずれかのキーを押すとスピーカーから出力が開始されます。
	TONE ON	オーディオ制御設定に合致した信号を受信したときに、着信トーンのみ鳴りスピーカーからの出力をしません。いずれかのキーを押すとスピーカーから出力が開始されます。
初期値	OFF	

- ・セカンドトークチャンネルが設定されている場合、マナーモードは動作しません。

4.2.11 優先スキャン

優先スキャンのタイプを設定することができます。優先スキャンはスキャン動作時に優先スキャンチャンネルに設定されたチャンネルを優先スキャンチャンネル未設定時のスキャンのときよりも早くスキャンすることができます。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF	優先スキャンを使用しない。
	固定	優先スキャンチャンネルは、優先スキャンチャンネルに設定されたチャンネルに固定します。
	選択	優先スキャンチャンネルは、簡易メニューの優先スキャン設定で選択設定されます。
初期値	OFF	

- ・セカンドトークチャンネルが設定されている場合、セカンドトーク機能が優先となり優先スキャン機能は動作しません。優先スキャンを使用する場合、セカンドトークチャンネル設定を OFF にしてご使用ください。
- ・優先スキャン設定を“選択”で使用する場合、簡易メニューに“優先スキャン”を追加してご使用ください。

4.2.12 優先スキャンチャンネル

優先スキャン設定を“固定”に設定したときの優先スキャンチャンネルを設定できます。

ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	なし
	CH 1 (D01) ～CH 30 (D30) 通常 CH
	CH 31 (S01) ～CH 35 (S05) 上空 CH
初期値	なし

4.2.13 VOX 終話遅延時間

VOX 設定が PTT および音声の時の送信したあと、マイク音声入力がなくなってから送信を保持する時間を設定することができます。送信音声途切れることを防ぐために使用します。

ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	0.3S、0.5S、1S、1.5S、2S、3S (S:秒)
初期値	2S(2 秒)

・VOX 設定が PTT または音声のときに有効になる設定です。

4.2.14 VOX 設定

VOX タイプを設定できます。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF	VOX 機能を使用しない。
	PTT	PTT を押したあと自動的に送信を継続し、VOX 感度設定で設定された音声入力感度レベル以下になると VOX 終話遅延時間設定値経過後、自動的に送信を終了します。
	音声	VOX 感度設定で設定された音声入力レベルを超えると自動的に送信を開始し、VOX 感度設定で設定された音声入力以下となると、VOX 終話遅延時間設定値経過後、自動的に送信を終了します。
初期値	OFF	

・周囲の騒音などにより、マイクロホンへの入力がない場合、【PTT スイッチ】を単押しして送信を終了します。

・設定値: 音声を設定した場合、周囲の騒音や本機への衝撃などによる音により誤送信する場合があります。そのような場合には設定値を PTT に変更してご使用ください。

4.2.15 VOX 感度

VOX による自動送信開始および終了するマイク入力感度を設定できます。

ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	レベル 1 (高感度)～レベル 10 (低感度)
初期値	レベル 4

4.2.16 通話録音設定

録音をするかどうかの設定ができます。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF	通話録音をしない。
	ON	通話録音をする。
初期値	OFF	

・無線機簡易メニューの録音＞録音設定と同一設定です。

4.2.17 S メーター

無線機の表示画面に S メーターを表示するかどうかの設定ができます。

ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF	S メーター、周波数表示をしない。
	ON	S メーター、周波数表示をする。
初期値	OFF	

・無線機拡張メニューの S メーターと同一設定です。

②オプション編集ウィンドウ・共通設定 2 タブ

オプション編集

共通設定 1

共通設定 2

簡易メニュー

キー

オーディオ制御

UC

モニター

OFF

スキャン

OFF

Pttキーホールド

OFF

セカンドトークch保持時間

2S

セカンドトークビープ音

OFF

セカンドトークチャンネル

なし

自動液晶オフ

10秒

内部マイク感度

0DB

外部マイク感度

0DB

通話開始告知音

OFF

終話告知音

OFF

送信音設定

フラット

受信音設定

フラット

自動送信出力設定

OFF

上空チャンネル設定

OFF

簡易チャンネル

15

Ok

閉じる

図 4-4 オプション編集ウィンドウ・共通設定 2 タブ

4.2.18 オーディオ制御

UC および選択呼出し信号を受信したときにスピーカーからの出力を制御する条件を設定できます。
ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	UC	受信した UC が、無線機に設定されている UC と一致すると、無線機はスピーカーのミュートを解除し、音声を出力します。
	UC+ 選択呼出	選択呼出機能が ON 設定になっている状態で、選択呼出し信号を受信し、無線機に設定されている ID と一致すると、無線機はスピーカーのミュートを解除し、音声を出力します。
初期値	UC	

- ・オーディオ制御を行わず、すべての信号をスピーカーから出力したい場合は、オーディオ制御を“UC”にして、UC コードの設定を“OFF (なし)”に設定してください。

4.2.19 モニター

モニター機能を有効にするかどうかの設定ができます。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF	オーディオ制御に設定されている UC および選択呼出の条件不一致に従い、スピーカーのミュート機能が動作します。
	ON	オーディオ制御に設定されている UC および選択呼出の条件不一致によるスピーカーのミュート機能を解除し、通信状態の確認ができるようになります。
初期値	OFF	

・セカンドトークチャンネルが設定されている場合、モニター機能が優先となりセカンドトークチャンネル機能は動作しません。セカンドトークチャンネルを使用する場合、モニター設定を OFF にしてご使用ください。

4.2.20 スキャン

スキャンを開始または停止します。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF	スキャン停止
	ON	スキャン開始
初期値	OFF	

4.2.21 PTT ホールド

PTT ホールド機能を有効にするかどうかを設定することができます。

PTT ホールド機能は、PTT スイッチを押して送信を開始したあと、PTT スイッチを離しても送信を継続することができる機能です。

ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF	PTT ホールド機能:OFF
	ON	PTT ホールド機能:ON(有効)
初期値	OFF	

4.2.22 セカンドトーク ch 保持時間

セカンドトーク ch 保持時間は、セカンドトークチャンネルの送受信がなくなったあと、セカンドトークチャンネルに留まる保持時間を設定できます。保持時間を過ぎると現在のチャンネルとセカンドトークチャンネルのスキャンを再開します。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	2S、5S、10S(S:秒)
初期値	2S(2 秒)

・無線機拡張メニューの“2 トーク Time”と同一設定です。

4.2.23 セカンドトークビーブ音

セカンドトークチャンネルを送受信開始時、スピーカーから開始告知音を鳴らすかどうかを設定できます。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF	セカンドトークチャンネルの送受信開始告知音を鳴らさない。
	ON	セカンドトークチャンネルの送受信開始告知音を鳴らす。
初期値	OFF	

・無線機拡張メニューの“2 トーク Beep”と同一設定です。

4.2.24 セカンドトークチャンネル

セカンドトークチャンネルでは、セカンドトークに設定された PTT キーを押したときに送信が開始されるチャンネルを設定することができます。

設定範囲	なし、1 (D01) ～30 (D30)
初期値	なし

・無線機拡張メニューの“2 トーク CH”と同一設定です。

4.2.25 自動液晶 OFF

10 秒間通話やキー操作が無かった場合に液晶表示を自動でオフする機能です。液晶表示がオフの時は、10 秒毎に送受信 LED が緑色に点滅します。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF:無線機の電源が ON のときに、常に液晶表示をします。
	10 秒、20 秒、30 秒、60 秒:設定時間通話やキー操作が無かった場合に液晶表示を自動でオフします。液晶表示がオフの時は、10 秒毎に送受信 LED が緑色に点滅します。
初期値	10 秒

・無線機簡易メニューの“自動液晶オフ”と同一設定です。

4.2.26 内部マイク感度

内蔵マイクロホンの感度を変更することができます。

ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	-20DB～+6DB (2DB ステップ)
初期値	0DB

・無線機拡張メニューの“内マイク感度”と同一設定です。

4.2.27 外部マイク感度

スピーカーマイクロホン使用時など、外部マイクrohンの感度を変更することができます。

ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	-20DB～+6DB（2DB ステップ）
初期値	0DB

・無線機拡張メニューの“外マイク感度”と同一設定です。

4.2.28 通話開始告知音

【PTT スイッチ】を押して送信したときに、通話が可能な状態になったことを送信者に音で知らせる機能を有効にするかどうかを設定できます。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF	通話開始告知音を出力しません。
	ON	通話開始告知音を出力します。
初期値	OFF	

・無線機拡張メニューの“通話告知音”と同一設定です。

4.2.29 終話告知音

送信者が【PTT スイッチ】を離して送信を終了したことを受信者に音で知らせる機能を有効にするかどうかを設定できます。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF	終話告知音を出力しません。
	ON	終話告知音を出力します。
初期値	OFF	

・無線機拡張メニューの“終話告知音”と同一設定です。

4.2.30 送信音設定

送信音声の音質が設定できます。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	フラット	標準的な音質になります。
	低域強調	送信音声の低域を強調します。
	高域強調	送信音声の高域を強調します。
初期値	フラット	

・無線機拡張メニューの“送信音特性”と同一設定です。

4.2.31 受信音設定

受信音声の音質が設定できます。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	フラット	標準的な音質になります。
	低域強調	受信音声の低域を強調します。
	高域強調	受信音声の高域を強調します。
初期値	フラット	

・無線機拡張メニューの“受信音特性”と同一設定です。

4.2.32 自動送信出力設定

受信レベルが良好なときに、送信出力を設定されている送信出力値より 1 段階 自動で下げ、他者通信への混信低減と低消費電力にする機能です。送信出力設定が H(5W)の場合で受信レベルが良好な場合、M(2.5W)に送信出力を切り替えます。送信出力設定が M(2.5W)の場合で受信レベルが良好な場合、L(1W)に送信 出力を切り替えます。送信出力設定が L(1W)の場合で受信レベルが良好な場合、S(0.25W)に送信出力を切り替えます。送信出力設定が S(0.25W)の場合、本設定 On でも機能は動作しません。10 秒間送受信が無かった場合、パワーダウン前の送信出力になります。

ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF	送信電力オートパワーダウン機能を使用しない。
	ON	送信電力オートパワーダウン機能を使用する。
初期値	OFF	

・無線機拡張メニューの“送信出力制御”と同一設定です。

・本機能は 1 対 1 での通信でのみご使用ください。複数でのグループ通信にて本機能を使用すると通信品質が劣化する場合があります。

4.2.33 上空 CH 設定

登録局に対する上空利用割当周波数(351.16875～351.19375MHz(6.25kHz 間隔)の 5 波)の S1～S5 チャンネルが受信できるようにする設定です。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	OFF	通常の送受信 30 チャンネル選択になります。
	ON	上空チャンネル(受信専用 5 チャンネル)が追加されます。
初期値	OFF	

・無線機簡易メニューの“上空 CH”と同一設定です。

4.2.34 簡易チャンネル

無線機のいずれかのキーに簡易チャンネル機能を割当てた場合に選択されるチャンネルを設定できます。ドロップダウン・リストから選択して設定します。

設定範囲	1 (D01) ～ 30 (D30)
初期値	15 (D15:呼出しチャンネル)

③オプション編集ウィンドウ・簡易メニュータブ

簡易メニュータブでは、ユーザーが無線機の簡易メニュー・モードで利用できる機能を設定することができます。簡易メニュータブ・ウィンドウの左側の ON に表示されている機能が、ユーザーが無線機の簡易メニュー・モードで利用できる機能です。左側の OFF に表示されている機能が、ユーザーが無線機の簡易メニュー・モードで使えない機能です。

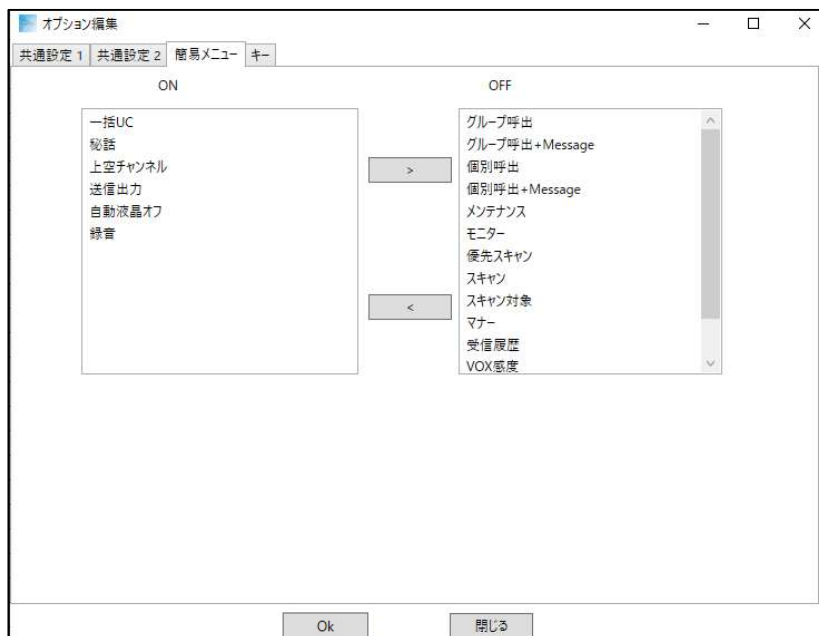


図 4-5 オプション編集ウィンドウ・簡易メニュータブ

次の手順で簡易メニューに利用できる機能を設定します。

◆機能リストから簡易メニューに追加する場合

- 1、機能を追加する場合、OFF の機能リストから簡易メニューに追加したい機能を選択後、【<】ボタンを押し ON 側に移動させます。
- 2、他に追加したい機能がある場合、1 番を繰り返して追加機能を ON 側に移動させます。
- 3、“Ok”ボタンを押します。

◆機能リストから簡易メニューに削除する場合

- 4、機能を削除する場合、ON の機能リストから簡易メニューに削除したい機能を選択後、【>】ボタンを押し OFF 側に移動させます。
- 5、他に追加したい機能がある場合、4 を繰り返して追加機能を ON 側に移動させます。
- 6、“Ok”ボタンを押します。

・プログラム・プルダウンメニュー>“無線機にデータを書き込む”を実行後、設定が無線機に書き込まれます。

●簡易メニュー・モードの機能リスト

設定範囲	表 4-1、簡易メニュー機能一覧の機能
初期値	一括 UC、秘話、上空 CH、送信出力、自動液晶オフ、録音

簡易メニューに設定できる機能は以下のとおりです。

表 4-1、簡易メニュー機能一覧

機能	無線機の表示	機能概要
一括 UC	一括 UC	受信/送信するときのユーザーコード(UC)を共通で設定します。ユーザー・コード通信は、同じチャンネルを複数のユーザーが使用している場合、同じユーザー・コードを設定している通話グループの音声だけを聞こえるようにする方式です。 ・チャンネル番号 15(D15)呼出しチャンネルを使用しているときは、この機能を設定することはできません。 ・チャンネル情報ウィンドウで一括設定が OFF となっているチャンネルがある場合には、この機能を設定することはできません。
秘話	秘話	秘話を有効(ON)または無効(OFF)に設定します。拡張メニューの一括秘話コードが設定されていない場合と一括秘話設定が OFF のチャンネルがある場合、この機能を設定することはできません。
上空 CH	上空 CH	登録局に対する上空利用割当周波数(351.16875 ～ 351.19375MHz(6.25kHz 間隔)の 5 波)の S1～S5 チャンネルが受信できるようにする設定です。
送信出力	送信出力	送信出力を高出力(5W:初期設定)から小出力(0.25W)、低出力(1W)、中出力(2.5W)に切り替える設定です。
自動液晶オフ	自動液晶オフ	設定時間通話やキー操作が無かった場合に液晶表示を自動でオフする設定です。
録音	録音	送信(発信)音声と受信音声を録音/再生する機能です。
グループ呼出	グループ呼出	グループ呼出モードになります。グループ呼出モードでは、グループ呼出 ID リストに設定されているグループ ID を選択して、グループ呼出しをすることができます。本機能は本無線機同士の通信でのみ使用できます。
グループ呼出+M	グループ呼出+Message	グループ呼出モードになります。グループ呼出モードでは、グループ呼出 ID リストに設定されているグループ ID を選択して、グループ呼出しをすることができます。グループ ID を選択したあとに【決定】キーを押すとメッセージ・モードになります。メッセージ・リストに設定されているメッセージを選択し、【PTT】スイッチを押すと選択したメッセージを送信することができます。機能は本無線機同士の通信でのみ使用できます。

個別呼出	個別呼出	個別呼出モードになります。個別呼出モードでは、個別呼出 ID リストに設定されている個別 ID を選択して、個別呼出しをすることができます。本機能は本無線機同士の通信でのみ使用できます。
個別呼出+M	個別呼出+Message	個別呼出モードになります。個別呼出モードでは、個別呼出 ID リストに設定されている個別 ID を選択して、個別呼出しをすることができます。個別 ID を選択したあとに【決定】キーを押すとメッセージ・モードになります。メッセージ・リストに設定されているメッセージを選択し、【PTT】スイッチを押すと選択したメッセージを送信することができます。機能は本無線機同士の通信でのみ使用できます。
メンテナンス	メンテナンス	メンテナンス表示モードになります。メンテナンス表示モードでは、RSSI レベル(受信信号強度目安)、受信周波数、送信周波数、バッテリー電圧値が表示されます。メンテナンス表示は、システムを構築するときやメンテナンスをするときの受信信号強度目安を表示させて確認することができる機能です。 ・スキャン中はメンテナンスモードに入ることはできません。 ・セカンドトークチャンネルおよび優先スキャンが設定されている場合は、メンテナンスモードに入ることはできません。
モニター	モニター	オーディオ制御に設定されている UC および選択呼出の条件不一致によるスピーカークのミュート機能を解除し、通信状態の確認ができるようにする機能です。
優先スキャン	優先スキャン	優先スキャンはスキャン動作時に優先スキャンチャンネルに設定されたチャンネルを優先スキャンチャンネル未設定時のスキャンのときよりも早くスキャンすることができる機能です。 ・セカンドトークチャンネルが設定されている場合、セカンドトーク機能が優先となり優先スキャン機能は動作しません。優先スキャンを使用する場合、セカンドトークチャンネル設定を OFF してご使用ください。 ・優先スキャン設定を“選択”で使用する場合、簡易メニューに“優先スキャン”を追加してご使用ください。
スキャン	スキャン	スキャンを開始または停止する機能です。
スキャン対象	スキャン対象	無線機のスキャン機能を動作させたときに、スキャンをするか否かを設定する機能です。
マナー	マナー	オーディオ制御設定に合致した信号を受信したときに、スピーカークからの出力をしないマナーモードを設定することができます。
受信履歴	受信履歴	個別呼出+Message、グループ呼出+Message の受信履歴を表示したり、削除することができます。
VOX 感度	VOX 感度	VOX による自動送信開始および終了するマイク入力感度を設定することができます。

④オプション編集ウィンドウ・キータブ

オプション編集ウィンドウ・キータブでは、【サイド1】、【サイド2】に割り当てる機能と【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】の長押し(ホールド)時に起動する機能を設定できます。ドロップダウン・リストより選択して設定します。



図 4-6 オプション編集ウィンドウ・キータブ

●キータブ・ウィンドウで設定できる機能は以下の通りです。

ドロップダウン・リストより選択して設定します。

表 4-2、キー機能一覧

機能	単押し	2 回押し(ダブルクリック)	長押し(ホールド)
なし	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】 【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】
簡易チャンネル	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】 【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】
グループ呼出	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】 【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】
グループ呼出+Message	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】 【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】
個別呼出	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】 【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】

個別呼出+Message	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】 【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】
キーロック	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】 【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】
送信出力	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】 【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】
メンテナンス	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】 【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】
モニター	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】 【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】
モニター（モーメンタリー） ※1	○【サイド1】、【サイド2】	X	X
優先スキャンチャンネル	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】 【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】
スキャン	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】 【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】
スキャン対象	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】 【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】
秘話	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】 【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】
マナー	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】 【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】
受信履歴	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】 【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】
上空チャンネル	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】 【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】
セカンドトーク(PTT)	○【サイド1】、【サイド2】	X	X
通話録音設定	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】 【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】
VOX 感度	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】 【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】
自動液晶オフ	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】	○【サイド1】、【サイド2】 【▲】、【▼】、【戻る】、【決定】

○：設定可

X：設定不可

【 】：初期設定

※1 モニター（モーメンタリー）は、キーを押している間のみモニター機能が動作する機能です。

4.3 個別呼出ウィンドウ

個別呼出ウィンドウでは、無線機が個別呼出しをするときに使用する個別 ID 名称を設定することができます。

個別連絡先リストは、呼出しする相手局の個別 ID と個別 ID 名称を紐付けしリストに登録することにより、呼出し先を選択するときのリスト表示、および個別呼出しを受信したときに登録された相手局の個別 ID 名称を無線機の画面に表示することができます。個別呼出の ID リストは最大 1000 件まで設定することができます。

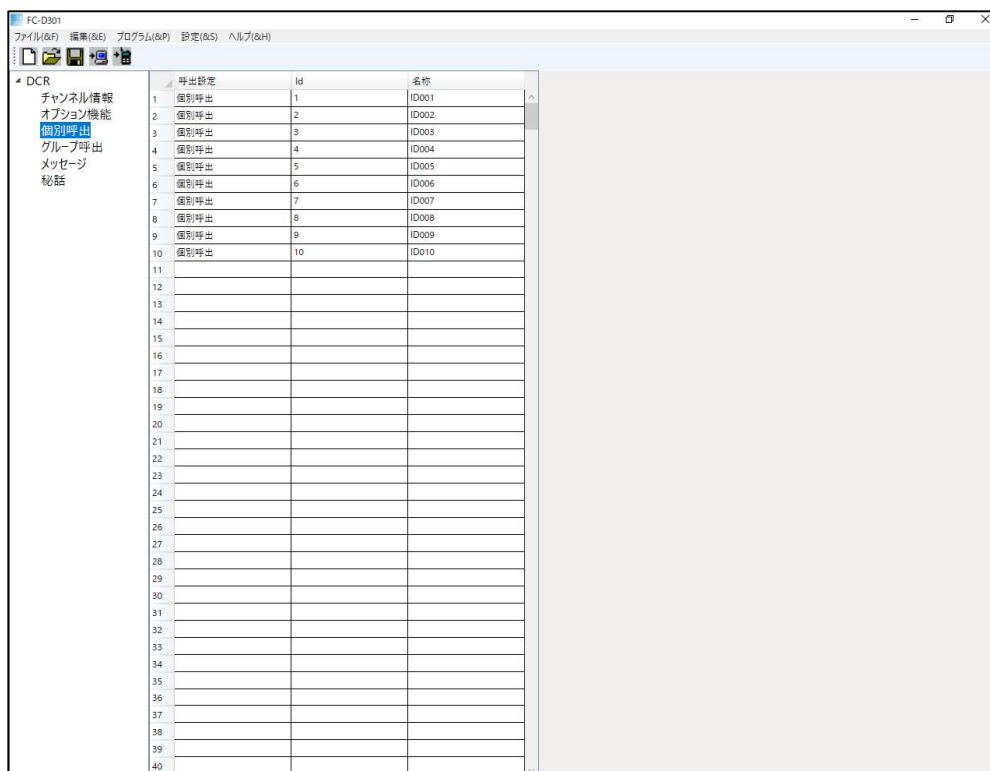


図 4-7 個別呼出ウィンドウ

編集する ID 名称をダブルクリックすると個別連絡先を編集ウィンドウが表示されます。

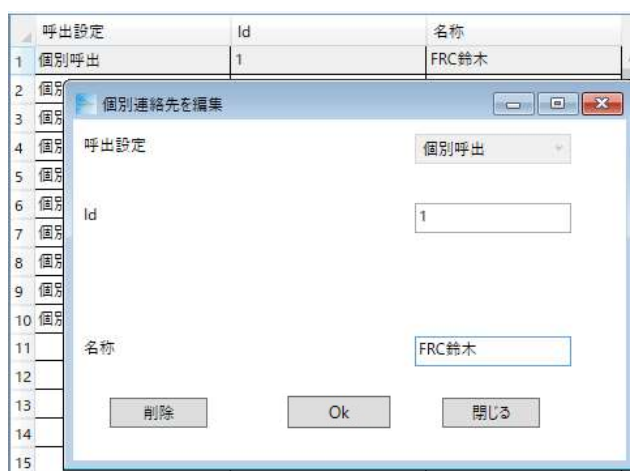


図 4-8 個別連絡先を編集ウィンドウ

■ID

個別呼出しをすることに使用する、相手局の個別 ID を設定することができます。

ユーザーは、個別連絡先リストに設定されている個別 ID と紐付けされた個別 ID 名称を選択して個別呼出しをすることができます。

ID をエディット・ボックスに直接入力することにより設定します。

設定範囲	設定なし、1～65519
初期値	1～10 の 10 リスト

■ID 名称

ID エディット・ボックスで設定した相手局の個別 ID 名称を設定することができます。

ID 名称をエディット・ボックスに直接入力することにより設定します。

設定範囲	全角 8 文字または半角英数字 16 文字以内 ※無線機表示画面には全角 5 文字または半角英数字 10 文字まで表示可能
初期値	ID001～ID010 の 10 名称

編集したあと、“Ok”をクリックして PC に設定値を保存します。

[削除]をクリックすると設定値が削除されます。“Ok”をクリックするとリストから個別連絡先が削除されます。

4.4 グループ呼出ウィンドウ

グループ呼出ウィンドウでは、無線機がグループ呼出しをするときに使用するグループ ID 名称を設定することができます。

グループ呼出リストは、呼出しするグループのグループ ID とグループ ID 名称を紐付けリストに登録することにより、呼出し先を選択するときのリスト表示、およびグループ呼出しを受信したときに登録された相手局のグループ ID 名称を無線機の画面に表示することができます。グループ呼出の ID リストは最大 250 件まで設定することができます。

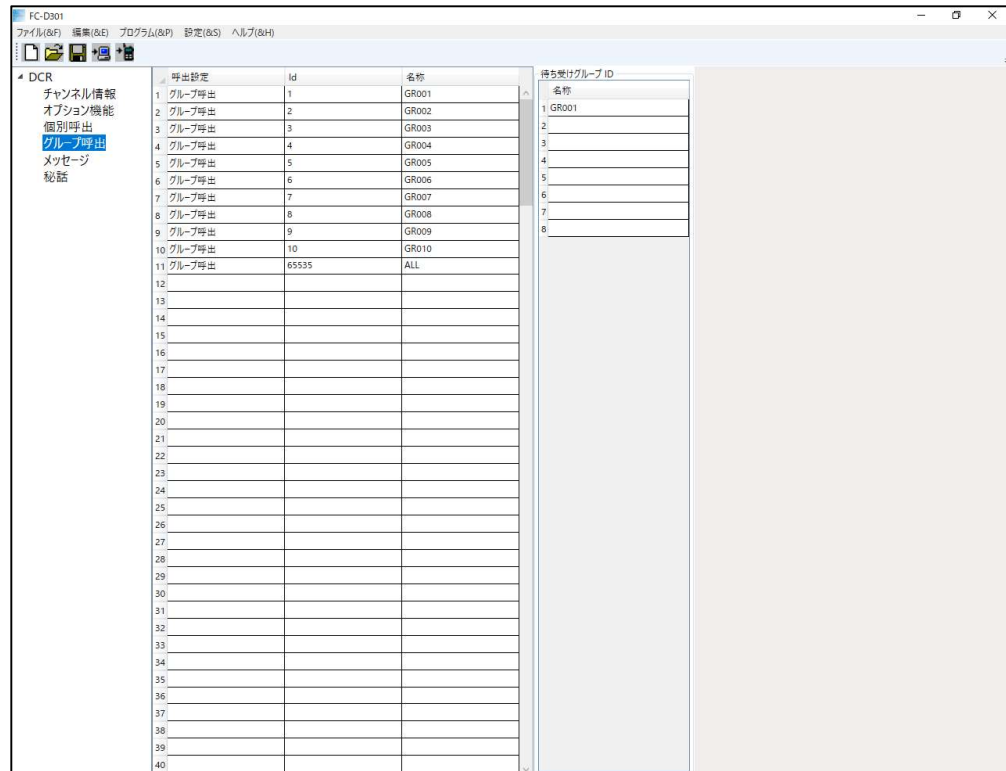


図 4-9 グループ呼出ウィンドウ

編集するグループ ID 名称をダブルクリックするとグループ名称編集ウィンドウが表示されます。

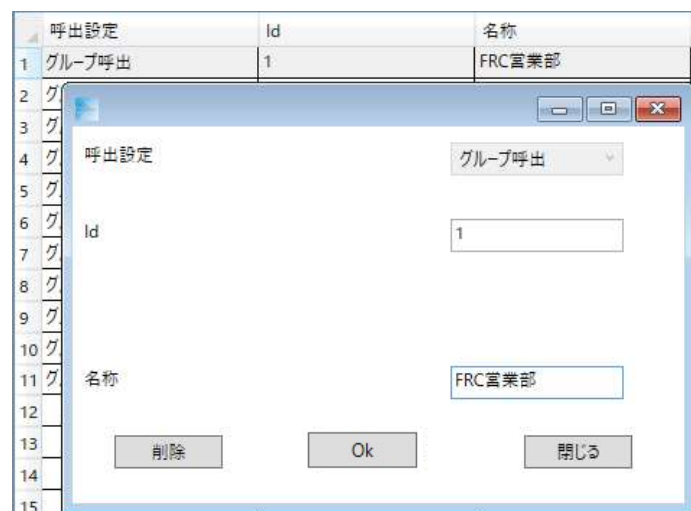


図 4-10 グループ名称編集ウィンドウ

■ID

グループ呼出しをすることに使用する、グループ ID を設定することができます。

ユーザーは、グループ呼出しリストに設定されているグループ ID と紐付けされたグループ ID 名称を選択してグループ呼出しをすることができます。

ID をエディット・ボックスに直接入力することにより設定します。

設定範囲	設定なし、1～65519、65535
初期値	ID 番号 1～10 の 10 リスト、ALL

■ID 名称

ID エディット・ボックスで設定した相手局の個別 ID 名称を設定することができます。

ID 名称をエディット・ボックスに直接入力することにより設定します。

設定範囲	全角 8 文字または半角英数字 16 文字以内 ※無線機表示画面には全角 5 文字または半角英数字 10 文字まで表示可能
初期値	GR001～GR010 の 10 名称、ALL

編集したあと、“Ok”をクリックして PC に設定値を保存します。

[削除]をクリックすると設定値が削除されます。“Ok”をクリックするとリストから個別連絡先が削除されます。

■待ち受けグループ ID

グループ呼出しを待ち受けするグループを設定できます。

設定範囲	OFF、グループ呼出しリストに登録されたリストの中から 8 グループ名称
初期値	ID 番号:1、名称:GR001

4.5 メッセージ・ウィンドウ

メッセージ・ウィンドウでは、無線機がステータス・メッセージ番号を送受信するときに使用するメッセージ内容を設定することができます。

メッセージ内容をメッセージ・リストに最大 100 件まで設定することができます。

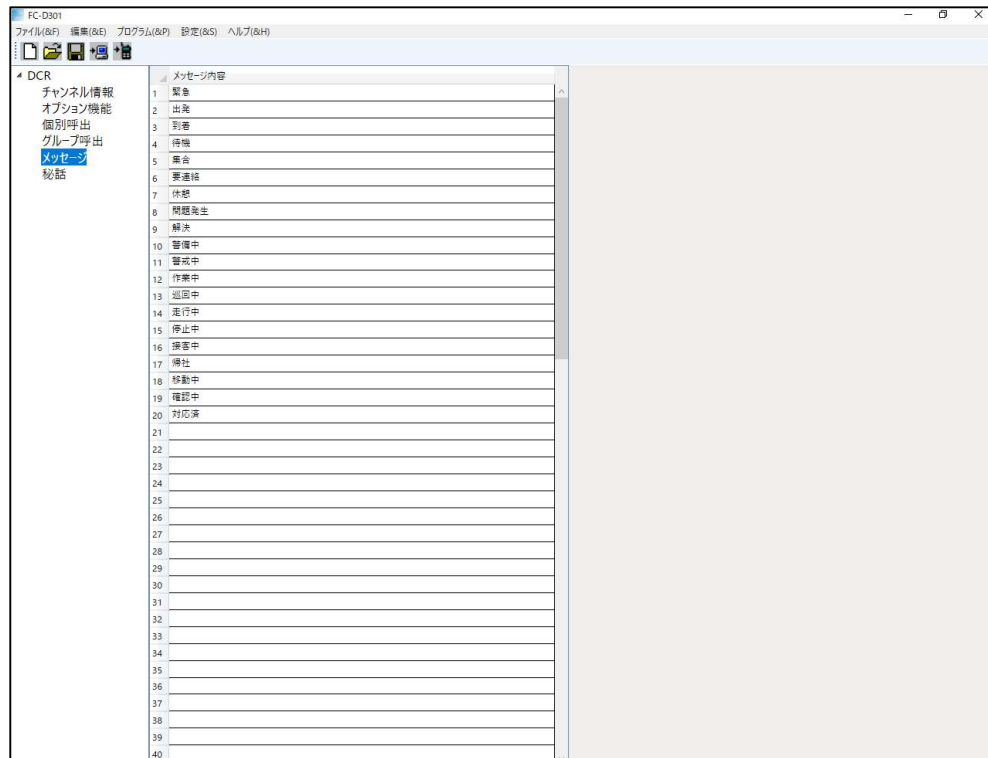


図 4-11 メッセージ・ウィンドウ

■メッセージ内容

メッセージ・エディットボックスをダブルクリックしてメッセージを入力します。

設定範囲	設定なし、全角 6 文字以内
初期値	表 4-3、メッセージ・リスト一覧

表 4-3、メッセージ・リスト一覧

番号	メッセージ内容
1	緊急
2	出発
3	到着
4	待機
5	集合
6	要連絡
7	休憩
8	問題発生
9	解決
10	警備中
11	警戒中
12	作業中
13	巡回中
14	走行中
15	停止中
16	接客中
17	帰社
18	移動中
19	確認中
20	対応済
21 以降	設定なし

4.6 秘話ウィンドウ

秘話ウィンドウでは、通信データを暗号化または復号化するために使用される秘話鍵を設定することができます。最大 32 個までの秘話鍵を設定することができます。無線機の初期設定は一括秘話鍵（すべてのチャンネルで同一の秘話鍵を使用する）となっています。

この機能を使用すると、通信データが秘話鍵により暗号化されるため、通話のセキュリティを高めることができます。

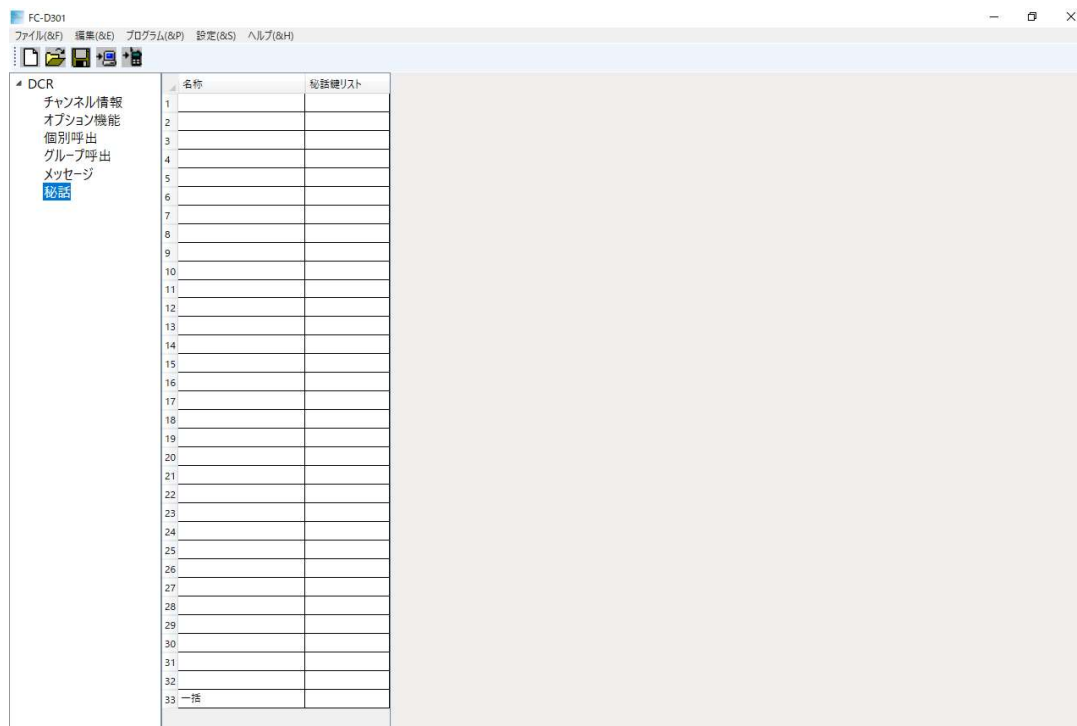


図 4-12 秘話・ウィンドウ

リストの一番下の 33 番目をダブル・クリックすると、秘話設定・ウィンドウが表示されます。

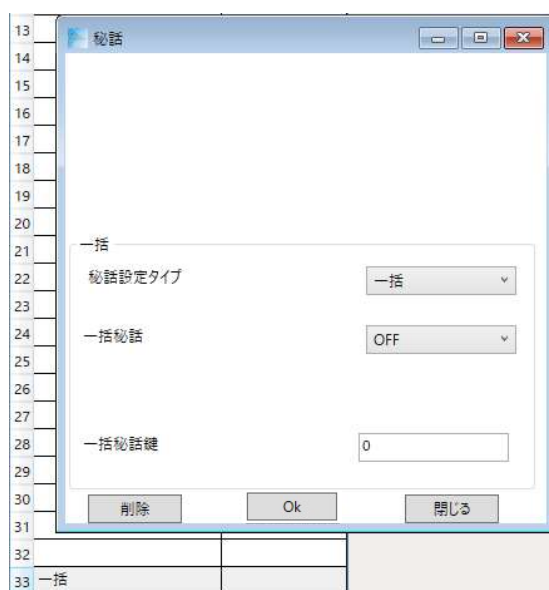


図 4-13 秘話設定・ウィンドウ(一括設定)

■ 秘話受信タイプ

秘話受信タイプを設定します。ドロップダウン・リストより選択して設定します。

設定範囲	一括	全チャンネルで同じ秘話鍵を設定する一括秘話設定タイプです。
	個別	秘話鍵リストを使用してチャンネルごとに個別の秘話鍵が設定できる個別秘話設定タイプです。
初期値	一括	

4.6.1 一括秘話設定

■ 一括秘話

一括秘話設定をするかどうかの設定をします。

設定範囲	OFF	一括秘話を無効にする。
	ON	一括秘話鍵を有効にする。
初期値	OFF	

■ 一括秘話鍵

設定範囲	0(設定なし)、1～32767
初期値	0(設定無し)

4.6.2 個別秘話設定

秘話受信タイプが個別の設定をするまえに、チャンネル情報・ウィンドウの「一括設定」をすべてのチャンネルで「OFF」としたあとに設定します。

リストの一番下の 33 番目をダブル・クリックすると、秘話設定・ウィンドウが表示されます。
「秘話設定タイプ」のプルダウン・リストから「個別」を選択し“Ok”をクリックします。



図 4-14 秘話設定・ウィンドウ(個別設定)

次にリスト番号の 1～32 番の秘話鍵リストをダブル・クリックすると秘話鍵設定・ウィンドウが表示されます。



図 4-15 秘話鍵設定・ウィンドウ

■ 秘話鍵

秘話鍵コードを設定できます。

設定範囲	設定なし、1～32767
初期値	設定無し

■ 秘話鍵名

秘話鍵名を設定できます。

設定範囲	設定なし、全角 8 文字または半角英数字 16 文字以内
初期値	設定なし

- ・秘話鍵に 1～32767 のコード番号を入力したあとに、秘話鍵名のエディット・ボックスにカーソルを移動すると、「秘話+秘話鍵」が自動的に入力されますが、設定範囲内で編集可能です。
- ・秘話鍵リストを作成すると、チャンネル情報・ウィンドウの秘話鍵リストのプルダウン・リストよりチャンネルごとに秘話鍵名を選択できるようになります。
- ・秘話鍵リストを作成し、無線機にデータを書き込むと、無線機の拡張メニューの「一括秘話鍵」が拡張メニューリストから消去され、「鍵リスト確認」と「秘話鍵名」が拡張メニューリストに追加されます。

■ 秘話鍵リスト確認

現在のチャンネルに設定されている秘話鍵コードの確認ができるようになります。

■ 秘話鍵名

秘話鍵リストに登録されている秘話鍵名のリストが表示され、その中から秘話鍵名を選択可能になります。

【サポート問い合わせ先】

株式会社エフ・アール・シー サービス課

TEL:042-793-7746 土日・祝日及び弊社休業日を除く【10:00～12:00 13:00～17:00】